

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：焼岳火山に学ぶ自然と土砂災害 ILAS Seminar :Learning from Yakedake Volcano: Nature and Sediment Disasters			担当者所属 職名・氏名	防災研究所 准教授 高山 翔揮 農学研究科 准教授 宮田 秀介 防災研究所 准教授 山野井 一輝		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・開講期	2026・前期集中	受講定員 (1回生定員)	6(6)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 8/24-9/4	教室	未定			使用言語	日本語
キーワード	自然 / 土砂災害 / 砂防 / 火山 / 現地実習						
[授業の概要・目的]							
山地域の自然等は私たちに多くの恵みをもたらす一方で、時として甚大な災害を引き起こします。自然の恵みと脅威の両面を理解し、自然と人間社会の共生のあり方を考えることが大切です。このような学びは、机上の知識だけでなく、実際のフィールドにおいて自然現象と防災の現場に向き合うことで深まります。本講義では、焼岳火山の麓に位置する防災研究所・穂高砂防観測所（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷）を拠点に、自然環境のしくみ、土砂災害の脅威、防災への取り組みを肌で感じながら学ぶことを目的とします。							
[到達目標]							
・焼岳火山周辺の地形・地質・植生などを観察し、自然環境のしくみとその成り立ちを理解する。 ・山地流域における水や土砂の動きから、土砂災害とそれに対する防災のしくみを理解する。 ・フィールドで得た知見をもとに、自然と人間社会の関わりについて自らの考え整理し、説明できるようになる。							
[授業計画と内容]							
本セミナーは、事前ガイダンス（@吉田キャンパス）と現地での実習（@岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾）から構成されています。 受講者決定後、5月ないし6月中に吉田キャンパスにおいて事前ガイダンスを開催します（ガイダンスの日時は、受講確定後に受講生と相談の上決定します）。ガイダンスでは、概要説明のほか、実習の日程調整も行います。 現地での実習の内容は次の通りです。							
1日目 穂高砂防観測所（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾）に15時ごろ集合 講義内容のガイダンス							
2日目 焼岳登山などを通じて、火山活動の状況、火山の地形や地質、植生の状況、土砂の生産状況などについて目で見て学ぶ。							
3日目 山地地域の地形、地質、水・土砂動態、土砂災害について講義と現地実習を行い、とくに水や土砂から見た自然環境のしくみとその中で起こる土砂災害について学ぶ。							
ILASセミナー：焼岳火山に学ぶ自然と土砂災害(2)へ続く↓↓↓							

4 日目

山地流域に設置されている防災施設を現地調査し、災害から身を守るための知恵、土砂をコントロールするしくみ、環境に調和した防災の考え方、自然回復の試みなどについて学ぶ。

5 日目

全体的な討論、レポート作成

12時解散

実施日は8月24日から9月4日の間で5日間設定します（日程の詳細は、事前ガイダンスで調整を行います）。履修者の都合で参加できない場合にも補講は行いませんので、受講希望者は予定を十分考えた上で、履修登録してください。

基本的に交通費・食費は受講生の負担となり、宿泊は観測所の施設を利用（無料）します。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

成績は実習への参加状況・態度（30%）とレポート（70%）により評価します。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

（関連URL）

<https://rcfcd.dpri.kyoto-u.ac.jp/frs/hodaka/>(穂高砂防観測所)

【授業外学修（予習・復習）等】

予習は特に必要ないが、国内外の土砂災害（土石流・崩壊・火山など）や防災対策についてのテレビ・新聞・WEBで報道されるニュースを意識的に情報収集することが、講義内容の理解に役立つ。

【その他（オフィスアワー等）】

フィールドでの実習を行いますので、学生教育研究災害傷害保険等、傷害保険には必ず加入の上で受講してください。

また、本セミナーでは焼岳登山を計画しているため、動きやすく、ある程度汚れても良い服装を準備してください（雨具や登山靴は貸出可能です）。

本セミナーは集中講義形式で、8月24日から9月4日までの間の5日間で実施します（日程の詳細は事前ガイダンスで調整します）。受講希望者は当該期間の予定を十分考えた上で、選択してください

基本的に交通費は受講生の負担となり、宿泊は観測所の施設を利用（無料）します。

交通費の目安：

・バス【京都駅前（高速バス） 高山駅（路線バス） 中尾高原口（徒歩） 穂高砂防観測所】

往復18,000円程度

・鉄道メイン【京都駅（新幹線） 名古屋駅（特急ひだ） 高山駅（路線バス） 中尾高原口（徒

ILASセミナー：焼岳火山に学ぶ自然と土砂災害(3)

歩) 穂高砂防観測所】 往復26,000円程度
運行状況は要確認のこと

なお、実施時期が8月下旬～9月上旬のため、成績報告が遅れる場合があります。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。

[実務経験のある教員による授業]

分類

学外での実習等を授業として位置付けている授業科目

当該授業科目に関連した実務経験の内容

実務経験を活かした実践的な授業の内容

[主要授業科目（学部・学科名）]